

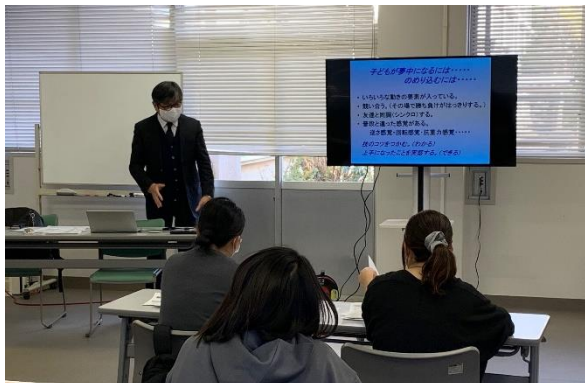


令和3年11月27日（土）に開催しました「第17回 運動遊びブレイリーダー研修会」の様子を3回にわたりレポートします！講師は、中村和彦先生と眞砂野裕先生です！

**講師：中村 和彦 先生**  
(国立大学法人山梨大学 理事・副学長)  
YBS山梨放送「ゴリラパンダ」ダンス  
NHK 2020応援ソング「パプリカ」ダンスなどを監修

**講師：眞砂野 裕 先生**  
(東京都昭島市立光華小学校 副校長)  
日本トップリーグ連携機構 JTLブレイリーダー  
ミズノ株式会社 ブレイリーダーマイスター

## 講義



山梨大学理事・副学長の中村和彦先生からは、

子どもが夢中になるためには、

- ・いろいろな動きの要素が入っている
- ・競い合う（その場で勝ち負けがはっきりする。）
- ・友達と同調（シンクロ）する。
- ・普段と違った感覚がある。（逆さ感覚、回転感覚、抗重力感覚）

といった要素が入っていることが重要であるとお話をいただきました。

【テーマ：用具を操作する運動遊び】

### 風船を使って遊ぼう。



ボールを捕る  
⇒キャッチングそのものの他に  
ボールとの距離感を掴むことが  
必要です。

早いスピードで空間を飛んでくる  
ボールでは、ボールとの距離感を  
掴むことがなかなか難しいので、  
空間をゆっくり動き、徐々に  
自分との距離が変化する  
「風船」が大活躍です。



「手」だけでなく、「頭」「足」など、  
様々な体の部位で風船をつくことで、自分の体  
と風船との距離感をつかむことに繋がります。



「二人で風船をつきながらゴールまで行ってみよう」だけでなく、「二人で協力して、運ぼう」や「手を使わないで運ぼう」など、子どもたちに「どうしたらよいか」と考えさせる伸びしろを残すと子どもたちは、おもしろく、のめりこみます。